

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
会長講演	PL	川勝 忍	若年性認知症の臨床・画像・病理	○
プレナリーセッション1	PS1	Keith A. Josephs	Unravelling the Effects of TAR DNA Binding Protein 43 in Aging and Alzheimer's	○
プレナリーセッション2	PS2	Gabor G. Kovacs	Update on Tau-related conditions	○
特別講演1	SL1	下濱 俊	疾患修飾薬のその先へ	○
特別講演2	SL2	松田 博史	認知症の画像診断の進歩	○
特別講演3	SL3	粟田 圭一	共生社会の実現を推進するための認知症基本法とこれからの認知症施策	○
特別講演4	SL4	鈴木 匡子	認知症診療・研究における神経心理学の役割	○
特別講演5	SL5	江澤 和彦	尊厳の保障	○
学術教育講演1	EL1	金井 数明	筋萎縮性側索硬化症およびパーキンソン病関連疾患と認知症	○
学術教育講演2	EL2	北爪 しのぶ	血管性アミロイドの基礎	×
学術教育講演3	EL3	下畑 享良	進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症をめぐる最近の進歩	○
学術教育講演4	EL4	櫻井 圭太	認知症の診療における画像診断の役割	○
学術教育講演5	EL5	船山 道隆	行動神経学	○
学術教育講演6	EL6	西田 尚樹	法医解剖例から見た高齢者の臨床神経病理	○
学術教育講演7	EL7	武地 一	地域に根差す認知症カフェ	○
学術教育講演8	EL8	伊東 美緒	やささを伝えるケア技術“ユマニチュード”により認知症症状の悪化を回避する	×
学術教育講演9	EL9	山田 茂樹	脳循環代謝と認知症：脳の水の役割	○
学術教育講演10	EL10	冨本 秀和	ARIAリスクとしての脳アミロイド血管症	○
学術教育講演11	EL11	入谷 修司	認知症と鑑別すべき老年期精神疾患	○
学術教育講演12	EL12	三村 将	認知症予防に向けての最近のトピックス	○
シンポジウム1	SY1-1	堀江 勘太	抗MTBRタウ抗体E2814の顕性遺伝アルツハイマー病におけるバイオマーカー効果	○
シンポジウム1	SY1-2	John Sims	Advances in our Understanding of Amyloid Plaque Clearing Therapies	×
シンポジウム1	SY1-3	Szofia Bullain	Design of Phase 2 Study to Assess the Safety and Efficacy of BIIB080 in Subjects with early Alzheimer's disease	×
シンポジウム1	SY1-4	Luka Kulic	Brainshuttle™ AD - a Phase Ib/IIa study of trontinemab in people with Alzheimer's disease	○
シンポジウム1	SY1-5	Lennert Steukers	Phosphorylated Tau Targeted Passive & Active Immunotherapy in Alzheimer's Disease	○
シンポジウム2	SY2-1	大塚 智丈	認知症に関わる先入観の修正を目指した説明～価値ある認知症医療・ケアとなるために～	○
シンポジウム2	SY2-2	繁田 雅弘	病識に合わせた治療同意を考える	○
シンポジウム2	SY2-3	扇澤 史子	心理療法が目指すことー回想法や本人交流会などのグループセラピーを中心に	○
シンポジウム2	SY2-4	松田 修	残存機能に焦点を当てた心理支援：ノーマライゼーションの具現化を目指して	○
シンポジウム3	SY3-1	清水 聡一郎	血管障害危険因子の認知症に及ぼす影響	×
シンポジウム3	SY3-2	新堂 晃大	脳アミロイド血管症と認知機能障害～脳小血管病からみた認知症発症リスク低減～	○
シンポジウム3	SY3-3	中澤 太郎	地域高齢住民における灰白質萎縮および白質病変が認知症発症に及ぼす影響：久山町研究	○
シンポジウム3	SY3-4	粟田 圭一	認知症の発症リスク低減を社会実装する際の課題：プライマリ・ヘルス・ケアの視点から	○
シンポジウム4	SY4-1	千田 俊哉	クライオ電顕による立体構造解析の発展と現在	○
シンポジウム4	SY4-2	樽谷 愛理	病理構成タンパク質の構造を基にした神経変性疾患分類	×
シンポジウム4	SY4-3	下中 翔太郎	人工変異tauを用いたtau strain識別と凝集阻害の試み	×
シンポジウム4	SY4-4	山形 敦史	クライオ電子線トモグラフィー法によるアミロイド線維の in situ 構造解析	×

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
シンポジウム5	SY5-1	山口 良文	哺乳類の冬眠研究の現在地点	○
シンポジウム5	SY5-3	小早川 高	感覚創薬による人工冬眠・生命保護状態の誘導と認知症治療法	×
シンポジウム5	SY5-4	松永 哲郎	超硫黄分子に依存した哺乳類のミトコンドリアエネルギー代謝機構の解明	○
シンポジウム5	SY5-2	砂川 玄志郎	冬眠の臨床応用を目指して：マウスを用いた冬眠研究	×
シンポジウム6	SY6-1	浅野 武夫	AMEDにおける患者・市民参画（PPI）：医療研究開発の「社会共創」に向けて	○
シンポジウム6	SY6-2	桜井 なおみ	認知症研究における患者参画 ～脱「貴重なご意見ありがとうございました」に向けて～	○
シンポジウム6	SY6-3	森口 奈菜	認知症研究開発の推進等における患者・市民参画の現状～国際的な動向を踏まえて～	○
シンポジウム6	SY6-4	鎌田 松代	認知症研究への患者・市民参画～当事者・家族等から～	○
シンポジウム6	SY6-5	平井 正明	当事者の立場からみた認知症研究への参画の課題	○
シンポジウム6	SY6-6	岩坪 威	認知症研究への患者・市民参画～研究者の立場から～	○
シンポジウム7	SY7-1	渡辺 宏久	神経変性性認知症の病態と脳内ネットワーク	○
シンポジウム7	SY7-2	陸 雄一	病理から考える認知症の脳内ネットワーク	○
シンポジウム7	SY7-3	川畑 和也	機能的MRIから考える脳内ネットワーク	○
シンポジウム7	SY7-4	遠藤 浩信	PETから考える脳内ネットワーク	×
シンポジウム7	SY7-5	鎌形 康司	拡散MRIによるアルツハイマー病における脳内ネットワーク変性の評価	○
シンポジウム8	SY8-1	石川 英洋	小血管性認知症の画像と病理	○
シンポジウム8	SY8-2	飯島 順子	脳血管内皮型APP770に着目したCAAモデルマウスの開発	×
シンポジウム8	SY8-3	齊藤 聡	遺伝性脳小血管病CADASILに対する最新の治療戦略	○
シンポジウム8	SY8-4	加藤 泰介	脳小血管病におけるmatrisome 蓄積を中心とした加齢性変化と治療戦略	○
シンポジウム9	SY9-1	安楽 泰孝	脳内に薬剤を送達するナノマシン	×
シンポジウム9	SY9-2	鈴木 亮	マイクロバブルと超音波を利用した脳内薬物デリバリー法の開発	○
シンポジウム9	SY9-3	金沢 貴憲	非侵襲的な脳脊髄疾患治療に資するNose-to-Brain型核酸ナノDDSの開発	×
シンポジウム9	SY9-4	富山 貴美	経鼻投与を基盤とした認知症予防薬・診断薬の開発	○
シンポジウム10	SY10-1	早川 正祐	哲学の視点からみた認知症の人のエンドオブライフと意思決定支援	○
シンポジウム10	SY10-2	内田 直樹	在宅診療における認知症のある人のエンドオブライフ	○
シンポジウム10	SY10-3	山本 梨恵	介護施設における認知症の人のエンドオブライフとACP	○
シンポジウム10	SY10-4	大西 奈保子	認知症の人とその家族のエンドオブライフケア	○
シンポジウム11	SY11-1	波田野 琢	α-シヌクレインとLewy小体病	○
シンポジウム11	SY11-2	仙石 錬平	Lewy小体病の病理学	×
シンポジウム11	SY11-3	織茂 智之	Lewy小体病の診断と治療	○
シンポジウム12	SY12-1	Eric McDade	Dominantly Inherited Alzheimer's disease as model for preventing Alzheimer's disease	○
シンポジウム12	SY12-2	池内 健	DIAN-Japan観察研究	○
シンポジウム12	SY12-3	新美 芳樹	DIAN-TU研究	○
シンポジウム12	SY12-4	関島 良樹	遺伝性認知症とHED-TRC研究	○
シンポジウム13	SY13-1	井原 涼子	早期に疾患修飾薬投与を開始した施設における近隣医療機関との連携	○
シンポジウム13	SY13-2	稲川 雄太	2病院におけるレカネマブ投与体制の立ち上げを経験して	○
シンポジウム13	SY13-3	内海 久美子	北海道における疾患修飾薬の現状	○
シンポジウム13	SY13-4	竹井 太	離島におけるアルツハイマー病疾患修飾薬の実臨床について	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
シンポジウム14	SY14-1	中山 隆宏	高速原子間力顕微鏡を用いた1分子観察による病態蛋白凝集体の構造動態解析	×
シンポジウム14	SY14-2	服部 信孝	RT-QuIC からみえてきたシヌクレイン凝集体の多様性と病的意義	×
シンポジウム14	SY14-3	小野 賢二郎	アミロイドβ凝集体の病的意義と臨床への応用	○
シンポジウム14	SY14-4	堀江 勘太	体液中のタウ微小管結合領域は脳内タウ病理を反映する	○
シンポジウム14	SY14-5	村上 一馬	メタアグリゲートと病態蛋白の学術変革	×
シンポジウム15	SY15-1	加藤 隆司	アミロイドPET臨床実装で見えてきた課題	○
シンポジウム15	SY15-2	島田 斉	認知症検診へのアミロイドPET 利用の課題について	○
シンポジウム15	SY15-3	松岡 究	認知症における炎症PETイメージング研究の動向	○
シンポジウム15	SY15-4	互 健二	タウ・シヌクレインPETの開発とその現況	○
シンポジウム16	SY16-1	笠貫 浩史	高齢者医療現場におけるTMSの可能性【シンポジウムのintroduction】	○
シンポジウム16	SY16-2	村上 丈伸	4連発磁気刺激法を用いたアルツハイマー病のシナプス可塑性障害の検出とその有用性	○
シンポジウム16	SY16-3	高倉 朋和	MCIとrTMS	×
シンポジウム16	SY16-4	高橋 隼	高齢者うつ病とrTMS療法	○
シンポジウム17	SY17-1	小田 真司	上肢の動かしづらさで発症し、緩徐に高次脳機能障害が出現した79歳剖検例（臨床）	○
シンポジウム17	SY17-2	初田 裕幸	上肢の動かしづらさで発症し、緩徐に高次脳機能障害が出現した79歳剖検例（病理）	○
シンポジウム17	SY17-3	川井 元晴	症例2の臨床呈示	○
シンポジウム17	SY17-4	佐藤 亮太	症例2の神経病理呈示	○
シンポジウム18	SY18-1	太田 康之	MCIの診断とフレイルとの関連	○
シンポジウム18	SY18-2	木村 成志	MCIにおける生活習慣因子と脳内アミロイド蓄積の関連	○
シンポジウム18	SY18-3	櫻井 孝	認知症予防を目指した多因子介入研究（J-MINT）と社会実装	○
シンポジウム18	SY18-4	篠原 もえ子	MCI診療と認知症予防	○
シンポジウム18	SY18-5	佐治 直樹	認知症の非薬物予防療法	○
シンポジウム19	SY19-1	池田 学	右側頭葉優位萎縮例の位置付けをめぐる国際的な動き	○
シンポジウム19	SY19-2	小林 良太	右側頭葉優位萎縮例の神経病理学的多様性	○
シンポジウム19	SY19-3	品川 俊一郎	右側頭葉優位萎縮例の症候学的多様性	○
シンポジウム19	SY19-4	森 康治	FTLD-Jにおける右側頭葉優位萎縮例（遺伝子検索を中心に）	○
シンポジウム20	SY20-1	大野 陽哉	自己免疫性脳炎と認知症：誤診を防ぐための知識	○
シンポジウム20	SY20-2	原 誠	認知症に類似する自己免疫性脳炎および関連疾患 -鑑別の要点と治療-	×
シンポジウム20	SY20-3	渡邊 修	抗LGI-1脳炎と認知機能障害	○
シンポジウム20	SY20-4	新堂 晃大	炎症性脳アミロイド血管症とアミロイド関連画像異常ARIA	○
シンポジウム21	SY21-1	橋本 唯史	APOEとβアミロイド凝集、蓄積、伝播	○
シンポジウム21	SY21-2	宮下 哲典	APOEのゲノム・トランスクリプトーム：レアミセンスバリエーションと脳内遺伝子発現	×
シンポジウム21	SY21-3	渡部 博貴	ヒトアストロサイトモデルから紐解くApoE機能	○
シンポジウム21	SY21-4	山田 薫	アルツハイマー病におけるタウとapoEの役割：新たな「multi hit」仮説の視点から	×
シンポジウム21	SY21-5	篠原 充	APOEの保護作用に着目したアルツハイマー病の病態解明、治療薬開発	○
シンポジウム22	SY22-1	徳田 隆彦	アルツハイマー病の血液バイオマーカー：リン酸化タウupdate	×
シンポジウム22	SY22-2	春日 健作	脳脊髄液バイオマーカー研究の進歩	○
シンポジウム22	SY22-3	奥住 文美	アルファシヌクレインパッチーにおけるアルファシヌクレインシードアッセイの有用性	×
シンポジウム22	SY22-4	木村 成志	地域住民コホートにおける血液バイオマーカーの活用	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
シンポジウム22	SY22-5	伊東 大介	認知症診療における血漿バイオマーカーの有用性と展望	○
シンポジウム23	SY23-1	金田 大太	神経原線維型変化型老年期認知症	○
シンポジウム23	SY23-2	足立 正	Argyrophilic grain diseaseの臨床と病理	○
シンポジウム23	SY23-3	小林 良太	Limbic-predominant age-related TDP-43 encephalopathyの臨床と病理	○
シンポジウム23	SY23-4	松原 知康	高齢者のLewy小体病	○
シンポジウム24	SY24-1	中村 友彦	自律神経症状の病態と治療	○
シンポジウム24	SY24-2	野原 幹司	認知症高齢者の嚥下障害への対応	○
シンポジウム24	SY24-3	饗場 郁子	認知症患者における転倒・骨折のエビデンスとマネージメント	○
シンポジウム24	SY24-4	品川 俊一郎	認知症の食行動変化の病態と対応	○
シンポジウム25	SY25-1	枝広 あや子	若年性認知症に関する全国疫学調査で得られた実態	○
シンポジウム25	SY25-2	繁信（釜江） 和恵	若年性認知症の診断と継続支援	○
シンポジウム25	SY25-3	根本 みゆき	若年性認知症の非薬物療法—前頭側頭葉変性症に対する運動療法—	○
シンポジウム25	SY25-4	谷向 知	若年性認知症の支援と課題と展望	○
シンポジウム26	SY26-1	井藤 佳恵	認知症支援体制の構築について：精神科医の立場から見た現状と課題	×
シンポジウム26	SY26-2	岡田 進一	認知症ケアの現状と課題：人材育成という課題解決のための方策	○
シンポジウム26	SY26-3	秋山 治彦	認知症の専門医育成について～若手医師への期待～	○
シンポジウム26	SY26-4	富田 泰輔	認知症の研究者育成について～若手研究者への期待～	○
シンポジウム27	SY27-1	樋口 真人	近未来の認知症診断	○
シンポジウム27	SY27-2	小野 賢二郎	近未来の認知症診療（抗アミロイド抗体関連）	○
シンポジウム27	SY27-3	富田 泰輔	近未来の認知症創薬戦略	○
シンポジウム27	SY27-4	中元 淳	加速するAI革新と医療DXによる社会実装	○
シンポジウム28	SY28-1	田代 学	SMBT-1 PETを用いた反応性アストロサイトイメージングの臨床有用性	○
シンポジウム28	SY28-2	木村 泰之	ミクログリアを可視化するPETイメージングの開発	○
シンポジウム28	SY28-3	遠藤 浩信	α シヌクレインのPETイメージング	×
シンポジウム28	SY28-4	原田 龍一	TDP-43/TMEM106Bイメージングの可能性	○
シンポジウム29	SY29-1	岩崎 靖	MCI-LBの病理学的背景	○
シンポジウム29	SY29-2	宮本 雅之	孤発性RBDのMCI	○
シンポジウム29	SY29-3	勝野 雅央	PD-MCIとバイオマーカー	○
シンポジウム29	SY29-4	鐘本 英輝	MCI due to ADを踏まえたMCI-LBの特徴と課題	○
シンポジウム30	SY30-1	井原 涼子	疾患修飾薬を見据えた早期アルツハイマー病診断における神経心理とバイオマーカー検査	○
シンポジウム30	SY30-2	森 悦朗	健忘の鑑別診断	○
シンポジウム30	SY30-3	小林 良太	非定型アルツハイマー病の臨床	○
シンポジウム30	SY30-4	松田 実	レカネマブ時代のアルツハイマー診療	○
シンポジウム31	SY31-1	粟田 圭一	抗A β 抗体薬の実臨床への導入を踏まえた認知症医療提供体制の整備について	○
シンポジウム31	SY31-2	古田 光	当センターの抗アミロイド抗体療法の実施状況と課題	○
シンポジウム31	SY31-3	新堂 晃大	疾患修飾薬の登場と地域医療、医師不足地域での問題	○
シンポジウム31	SY31-4	藤本 直規	疾患修飾薬の時代の連携型認知症疾患医療センターの役割について	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
シンポジウム32	SY32-1	堀 由起子	基礎研究においてヒト検体を用いる意義	×
シンポジウム32	SY32-2	間野 達雄	患者脳から紐解く神経疾患：ブレインバンクを活用したデータ駆動型研究	○
シンポジウム32	SY32-3	亀谷 富由樹	ヒト検体を利用した認知症タンパク質翻訳後修飾解析	×
シンポジウム32	SY32-4	宮下 哲典	ヒト剖検脳のゲノム・トランスクリプトーム・プロテオーム解析	×
シンポジウム33	SY33-1	伊関 千書	特発性正常圧水頭症と類似疾患との鑑別・併存アルゴリズム	○
シンポジウム33	SY33-2	中島 円	認知症診療医が知っておくべきシャント術・管理のエッセンス	○
シンポジウム33	SY33-3	鐘本 英輝	タップテストの多様性と推奨版ビデオ作成と公開	○
シンポジウム33	SY33-4	森 悦朗	日常診療に役立つSINPHONIからのエビデンス	○
シンポジウム33	SY33-5	数井 裕光	脳神経外科施設との診療連携向上に役立つ知見 —全国iNPH診療調査の結果から	○
シンポジウム34	SY34-1	遠坂 佳将	共生社会の実現を推進するための認知症基本法と国の基本計画の意義を考察する	○
シンポジウム34	SY34-2	藤田 和子	基本法を道標に「自分らしく生きる可能性を当事者本人とともに広げる」歩みを、ともに	○
シンポジウム34	SY34-3	鎌田 松代	当事者の立場から『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』への期待	○
シンポジウム34	SY34-4	新田 惇一	自治体における共生社会の実現を推進するための認知症基本法の意義	○
シンポジウム34	SY34-5	成本 迅	認知症の人の意思を尊重する共生社会実現のために重要なこと	○
シンポジウム34	SY34-6	粟田 圭一	総括：これからの認知症施策が目指す方向性	○
シンポジウム35	SY35-1	高畑 圭輔	慢性外傷性脳症(CTE)のタウPET所見	○
シンポジウム35	SY35-2	宮田 真里	反復性軽度頭部外傷の長期脳構造変化；日常診療で用いるMRI画像によるアプローチ	○
シンポジウム35	SY35-3	木村 妙子	慢性外傷性脳症モデルマウスを用いたタウオパチー病理の解明	×
シンポジウム35	SY35-4	高尾 昌樹	慢性外傷性脳症(chronic traumatic encephalopathy: CTE)の神経病理を中心に	○
シンポジウム36	SY36-1	藤城 弘樹	レビー小体型認知症の臨床病理学的診断基準と臨床経過	○
シンポジウム36	SY36-2	篠原 もえ子	体液バイオマーカーからみたアルツハイマー病病理合併レビー小体病	○
シンポジウム36	SY36-3	小林 良太	レビー小体型認知症連続体におけるアミロイドPET所見と認知機能の縦断的变化	○
シンポジウム36	SY36-4	木村 成志	DLBのAD病理による脳画像所見への影響	○
シンポジウム36	SY36-5	鈴掛 雅美	モデル動物の解析からみたDLB病理とAD病理の関連性	×
シンポジウム37	SY37-1	和氣 弘明	オリゴドンドロサイトによる神経回路の同期性制御と病態	×
シンポジウム37	SY37-2	宮下 哲典	オリゴドンドロサイトにおけるアルツハイマー病関連遺伝子の発現	×
シンポジウム37	SY37-3	白川 久志	血管性認知障害における白質傷害に対するグリア細胞の二面的な制御	○
シンポジウム37	SY37-4	村松 里衣子	ミエリンの再生メカニズム	×
ミニシンポジウム1	MSY1-1	橋本 泰輔	経産省が進める認知症分野の産官学の取組全体像について	○
ミニシンポジウム1	MSY1-2	紀伊 信之	認知症の人と企業の共創「当事者参画型開発」の実践について	○
ミニシンポジウム1	MSY1-3	河野 雄彦	当事者参画型開発の実践 開発のきっかけ・経緯、現在の取り組み	○
ミニシンポジウム1	MSY1-4	加藤 定基	当事者参画型開発の実践 製品開発プロセス(における当事者の声)、製品の特長	○
ミニシンポジウム1	MSY1-5	数井 裕光	認知症予防領域の産官学連携におけるアカデミアの活動	○
ミニシンポジウム2	MSY2-1	岡本 幸市	筋萎縮性側索硬化症とユビキチン陽性タウ陰性封入体	○
ミニシンポジウム2	MSY2-2	三山 吉夫	運動ニューロン疾患を伴う初老期認知症	○
ミニシンポジウム2	MSY2-3	池田 研二	ユビキチン封入体を伴う葉性萎縮 (FTLD-U)	○
ミニシンポジウム3	MSY3-1	櫻井 圭太	日常臨床で普及しているMRIはアルツハイマー病の臨床診断にどこまで迫れるか?	○
ミニシンポジウム3	MSY3-2	木村 成志	アルツハイマー病の臨床診断における脳血流SPECTの有用性と限界	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
ミニシンポジウム4	MSY4-1	栗田 圭一	独居認知症高齢者等の尊厳ある地域生活の継続をめざして：取り組むべき課題の整理	○
ミニシンポジウム4	MSY4-2	石山 麗子	今後の介護支援専門員が果たすべき役割を整理する	○
ミニシンポジウム4	MSY4-3	水島 俊彦	成年後見制度改正を見据えた新・権利擁護支援モデル(フォローシステム)のあり方	○
ミニシンポジウム5	MSY5-1	横田 修	タウオパチーにおける精神症状の出現とその先行	×
ミニシンポジウム5	MSY5-2	入谷 修司	いわゆる老年期精神病の背景病理と臨床対応	○
学会賞受賞講演	基礎	細川 雅人	タウ伝播モデルマウスに関する研究	○
学会賞受賞講演	臨床	上村 麻衣子	レヴィ小体病やアルツハイマー病に合併するLATEの臨床病理学的特徴	○
市民公開講座				×
研究者交流プログラム				×
ランチョンセミナー1	LS1	Gustavo Alva	Exploring dementia's spillover beyond the cognitive domain	×
ランチョンセミナー2	LS2	小野 賢二郎	作用機序から考えるレケンビの臨床応用	×
ランチョンセミナー3	LS3-1	田上 真次	認知症アパシー症状に対する人参養湯の可能性	×
ランチョンセミナー3	LS3-2	眞鍋 雄太	認知症治療における抑肝散加陳皮半夏の根拠と可能性	×
ランチョンセミナー4	LS4-1	小林 良太	抗Aβ薬時代のSPECT検査の有用性	×
ランチョンセミナー4	LS4-2	岩田 淳	抗Aβ薬の登場は何をもたらしたか?	×
ランチョンセミナー5	LS5	數井 裕光	行動・心理症状の発現リスク低減を重視した包括的治療	×
ランチョンセミナー6	LS6	水上 勝義	フレイルな認知症高齢者に対する漢方治療の可能性	×
ランチョンセミナー7	LS7	岩田 淳	レケンビを投与する意義とは。認知症医療の何が変わって何が変わらないのか?	×
ランチョンセミナー8	LS8	中村 祐	認知症BPSDの理解と対応	×
ランチョンセミナー9	LS9	井原 涼子	抗Aβ抗体を用いたアルツハイマー病診療におけるバイオマーカーの選択	×
ランチョンセミナー10	LS10	小林 直人	高齢者不眠症の背景因子を紐解く～認知症への移行を見据えた治療戦略～	×
ランチョンセミナー11	LS11	澤本 伸克	アミロイドPETを用いたアルツハイマー病の臨床診断	×
ランチョンセミナー12	LS12-1	松田 博史	アミロイドとタウPETによるアルツハイマー病診断	×
ランチョンセミナー12	LS12-2	羽生 春夫	VRゴーグルを用いた空間ナビ機能の測定によるprodromal ADの検出とレケンビ治療の実際	×
ランチョンセミナー13	LS13	新堂 晃大	アミロイド関連画像異常 (ARIA) と脳アミロイド血管症	×
ランチョンセミナー14	LS14	木村 成志	認知症の予防・早期診断・早期治療に向けた取り組みと課題	×
ランチョンセミナー15	LS15	島田 斉	夢見た未来を超えて：次世代認知症診療のその先へ	×
ランチョンセミナー16	LS16	藤城 弘樹	MIBGを活用したProdromal DLBの早期診断	×
ランチョンセミナー17	LS17	櫻井 孝	認知症予防を目指した多因子介入 (J-MINT) と社会実装	×
ランチョンセミナー18	LS18-1	朝田 隆	^{99m} Tc-ECD SPECT からAβ PET + を予測する	×
ランチョンセミナー18	LS18-2	森 進	脳ドックデータ大量解析から見える未病時の脳健康状態について	×
モーニングセミナー	MS	猪原 匡史	脳内のアミロイドβプラークを神経変性・血管障害双方の視点から考える	×
イブニングセミナー1	ES1	小原 知之	地域で実践するレケンビ治療：早期介入とその診療連携	×
イブニングセミナー2	ES2	武地 一	疾患修飾薬時代の認知症診断・治療・ケア	×
イブニングセミナー3	ES3	木下 彩栄	レケンビの登場を経て、診断後支援について再考する	×
イブニングセミナー4	ES4	井原 涼子	診療におけるSDMの重要性	×

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
学会奨励賞候補演題	P001	新美 芳樹	治験即応コホートJ-TRCにおける血液バイオマーカー測定の有用性に関する検討	○
学会奨励賞候補演題	P002	寺田 達弘	早期アルツハイマー病のミトコンドリア障害は活性化ミクログリアの進展と関連する	○
学会奨励賞候補演題	P003	重水 大智	アミロイドβの蓄積速度に関連する全ゲノム解析に基づく遺伝子変異の探索	○
学会奨励賞候補演題	P004	中山 顕次郎	タウ PET の定量指標 CenTauR と脳血流の関連	○
学会奨励賞候補演題	P005	岡野 真梨子	うつはmicroRNA-20a-5pと関与しアルツハイマー病発症リスクを増加させるかもしれない	○
学会奨励賞候補演題	P006	荒川 晶	高齢者ブレインバンクにおける直近10年間の嗜銀顆粒性疾患の有病率, 生前診断の検討	○
学会奨励賞候補演題	P007	菅野 舜介	AD-fold構造を持つ合成タウ線維を用いた新規タウ蓄積モデルの構築	○
学会奨励賞候補演題	P008	上田 哲大	DCTN1の機能欠損はストレス顆粒の動態異常を引き起こし、TDP-43凝集を促進する	○
学会奨励賞候補演題	P009	田平 万莉奈	αシヌクレイン線維の構造と翻訳後修飾	○
学会奨励賞候補演題	P010	木村 公俊	ミクログリアは免疫チェックポイント分子Tim3を介してアミロイドβ病理を制御する	○
学会奨励賞候補演題	P011	赤堀 愛果	アルツハイマー病リスク遺伝子INPP5Dの病的役割解明	×
学会奨励賞候補演題	P012	笹栗 弘貴	APP遺伝子の保護的遺伝子変異によるアルツハイマー病遺伝子治療	×
一般演題	P013	春日 健作	若年性アルツハイマー病の診断実態に関する後方視的共同観察研究	○
一般演題	P014	松本 光太	若年性アルツハイマー型認知症患者の配偶者における精神疾患治療薬の新規使用率	○
一般演題	P015	松原 知康	軽度認知障害から軽度認知症におけるアミロイドPET陽性に関連する因子の検討	○
一般演題	P016	竹重 遥香	チャットボットを用いた笑顔と会話によるアルツハイマー病診断	○
一般演題	P017	久徳 弓子	抗Aβ抗体薬治療患者の認知機能評価指標の特徴	○
一般演題	P018	池田 学	介護者用アルツハイマー型認知症アジェーションスクリーナー (AASC) 日本語版	○
一般演題	P019	柿本 明日香	バウムテストの空間使用に示されるアルツハイマー病の特徴	○
一般演題	P020	渡邊 緑	PSEN1とPRNPに病的バリエーションを認めた若年発症アルツハイマー病	×
一般演題	P021	津本 学	初老期発症アルツハイマー型認知症の健忘型と非健忘型の神経心理評価の検討	×
一般演題	P022	栗原 正典	臨床におけるPET・脳脊髄液アミロイドバイオマーカー乖離例の検討	×
一般演題	P023	安野 史彦	ADの扁桃体とその関連領域における神経炎症と不安:生体内PETイメージング研究	×
一般演題	P024	仲谷 元	Alzheimer病進行に伴う脳クリアランス機能指標の変化	○
一般演題	P025	宮崎 秀仁	アルツハイマー型認知症患者におけるIMP-SPECT脳血流量と末梢炎症反応の関係	×
一般演題	P026	高山 敏樹	認知症外来における臨床的アルツハイマー病画像診断の脳内アミロイド集積予測能検討	○
一般演題	P027	笠井 高士	半卵円中心における血管周囲腔拡張所見とCSF Aβ関連分子種の相関	○
一般演題	P028	舞草 伯秀	MRI縦断データを用いたCoxハザードモデルによる健常群から軽度認知障害群への転換予測	×
一般演題	P029	鈴木 寿臣	Tau in the nucleus basalis of Meynert in Alzheimer's disease	×
一般演題	P030	錫谷 研	認知症患者におけるASLと脳血流SPECTの機能画像の相関	○
一般演題	P031	赤坂 博	高齢者MCIの認知症転帰には扁桃体容積が関与する: YAHABA study	○
一般演題	P032	安高 拓弥	脳排出系と生活習慣因子の関連～脳血管周囲腔とリストバンドデータの検討～	○
一般演題	P033	三木 渉	アルツハイマー病の大脳白質病変と関連する髄液蛋白の網羅的解析	×
一般演題	P034	岩佐 憲一	健常者の認知機能低下は頭部MRI画像から予測できるか	○
一般演題	P035	慕 健	レカナマブ適応のアルツハイマー病に対するドパミントランスポーター画像の検討	×
一般演題	P036	池田 将樹	右側優位の側頭葉血流低下と同側脳表ヘモジリン沈着を認めたアルツハイマー病の1例	×
一般演題	P037	今林 悦子	Flortaucipir PETを用いたアルツハイマー病の視覚読影トレーニングの有効性評価	○
一般演題	P038	飯塚 友道	MCIにおけるアミロイドPET所見と脳血流SPECT所見の関連	○
一般演題	P039	吉崎 崇仁	早期アルツハイマー病におけるVSRAD解析の特徴	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
一般演題	P040	田代 学	認知症疾患の層別化における[18F]SMBT-1の有用性の検討プロジェクトの最終報告2024	○
一般演題	P041	榊原 泰史	老化とアミロイドβ蓄積に伴う大脳皮質での青斑核ノルアドレナリン神経軸索の変性様式	×
一般演題	P042	守吉 秀行	Senile Dementia of the Neurofibrillary Tangle Type (SD-NFT)の剖検例	×
一般演題	P043	五十嵐 一也	アルツハイマー病における白質病変と体液バイオマーカーの関連の検討	×
一般演題	P044	小嶋 望実	アルツハイマー型認知症患者検体を用いたAPOE遺伝子型判定PCR試薬の性能評価	○
一般演題	P045	吉川 えみ子	脳脊髄液の採取容器および保存条件がバイオマーカーの測定値に及ぼす影響の検討	○
一般演題	P046	齋藤 ののか	アルツハイマー病マーカーと連動する脳脊髄液・血漿中炎症性マイクロRNAの同定	×
一般演題	P047	赤堀 元樹	ヒト脳脊髄液プロテオームによるアルツハイマー病の認知機能障害進行予測因子の探索	○
一般演題	P048	中村 昭範	血漿Aβ42/40とpTau 217の臨床的有用性の検討 -1: 測定安定性の検証	×
一般演題	P049	中村 昭範	血漿Aβ42/40とpTau217の臨床的有用性の検討 -2: Aβ病理及びTau病理との関連	×
一般演題	P050	中瀬 泰然	認知症血液バイオマーカーに影響を及ぼす因子の検討	○
一般演題	P051	宮下 哲典	APOEのコモン・レアミスセンスバリエーションと末梢リポタンパクとの関連	×
一般演題	P052	山下 和人	全自動免疫測定装置を用いた血漿Aβ測定法は脳内Aβ蓄積を高い堅牢性をもって予測する	○
一般演題	P053	金子 直樹	前向き地域コホート研究における血液Aβバイオマーカーの臨床性能評価	○
一般演題	P054	篠原 充	長寿研バイオバンク髄液を用いた肥満度と炎症マーカーの関係性	○
一般演題	P055	瓦林 毅	アルツハイマー病と他の神経疾患の脳脊髄液p217tauとneurofilament light chain	○
一般演題	P056	中塚 雅雄	地域医療におけるレカネマブ治療導入経験	×
一般演題	P057	上野 亜佐子	当院におけるアミロイドPET, レカネマブの使用経験と臨床的検討	○
一般演題	P058	加藤 義章	ドネベジル貼付剤の継続に影響を与える副作用の実態調査	○
一般演題	P059	篠原 もえ子	患者本人のレカネマブ治療意欲と関連するバイオマーカーの検討	○
一般演題	P060	宮澤 直高	若年性アルツハイマー病患者に対するレカネマブの使用経験	○
一般演題	P061	森原 隆太	レカネマブ治療に伴うAPOE 遺伝子型検査の実際	○
一般演題	P062	岩田 育子	大学病院における多診療科連携型軽度認知障害センターの構築	○
一般演題	P063	藤本 可子	レカネマブ投与早期の凝固異常とARIA関連画像変化の関連性	×
一般演題	P064	三村 将	Regional Demographics in Semaglutide for Early AD Trials: Encore Presentation	○
一般演題	P065	新井 鐘一	早期ADへのレカネマブに対する医療グループ連携体制—金谷・藤枝モデル—第1報	○
一般演題	P066	雑賀 玲子	レカネマブ適応患者における治療選択について	○
一般演題	P067	木村 篤史	アルツハイマー病におけるビタミンB1と認知機能・脳血流の関連性の検討	×
一般演題	P068	犬塚 諒子	レカネマブ静注療法の単施設リアルワールドデータ	×
一般演題	P069	吉田 毅史	レカネマブの適応外症例およびアミロイドPET陰性症例の調査	○
一般演題	P070	安達 彩織	アルツハイマー病を疑ったが脳脊髄液アミロイドβ42/40が正常であった症例の検討	×
一般演題	P071	上村 昌寛	臨床試験成績を踏まえた抗Aβ抗体薬の承認審査における論点と課題	×
一般演題	P072	Salloway Stephen	ドナネマブとアデュカヌマブのアミロイド除去に関する直接比較: アンコール演題	○
一般演題	P073	Battoui Chakib	ドナネマブ投与後のアミロイドクリアランス関連するベースライン特性: アンコール演題	○
一般演題	P074	石崎 賢一	アルツハイマー型認知症に対するドネベジル経皮吸収製剤の有用性の検討	○
一般演題	P075	永倉 直樹	ドネベジル経皮吸収製剤開発における製剤学的課題の解決	○
一般演題	P076	井原 涼子	当院におけるレカネマブを用いた診療の実際	×
一般演題	P077	鳥居 健太郎	Clarity AD: レカネマブの長期有効性及び脳内Low Tau集団における有効性	○
一般演題	P078	中川 雅喜	Clarity AD: 疾患ステージ別及びベースラインの脳内アミロイド蓄積量別のARIA発現率	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
一般演題	P079	中川 雅喜	Clarity AD：日本人早期アルツハイマー病患者におけるレカネマブの安全性	○
一般演題	P080	融 衆太	当院におけるアルツハイマー病に対するレカネマブ投与の現況	×
一般演題	P081	佐藤 謙一郎	疾患修飾薬に対する意識調査：J-TRCウェブ参加者へのオンラインアンケート結果	×
一般演題	P082	Atri Alireza	ドナネマブの臨床的有用性(アンコール演題)	○
一般演題	P083	Greenberg Steven M.	ドナネマブの臨床試験から得たアミロイド関連画像異常に関する知見(アンコール演題)	○
一般演題	P084	大藏 裕平	Lecanemab One Osaka Project: LooPの取り組みについて	○
一般演題	P085	新美 芳樹	疾患修飾薬が導入された場合の医療提供体制と社会的課題に関する調査結果	○
一般演題	P086	武久 康	アルツハイマー型認知症に対するドネペジル経皮吸収剤についての検討	○
一般演題	P087	北園 久雄	アルツハイマー型認知症へのレカネマブとドネペジル経皮吸収剤併用症例の報告	○
一般演題	P088	佐藤 恒太	認知症専門医と非専門医による抗アミロイドβ抗体医薬の治療適用判断の差について	○
一般演題	P089	川田 純也	レカネマブ治療による重症ARIA-E症例の経験	○
一般演題	P090	岩田 邦幸	レカネマブ投与の適応確認に要する期間等についての調査と検討	○
一般演題	P091	今野 裕之	アルツハイマー型認知症に対する多因子介入による進行予防を試みた2症例	○
一般演題	P110	佐藤 祥一郎	アルツハイマー病の最初期病変を捉える3D VR ナビタスクの開発	○
一般演題	P092	島 さゆり	あたまの健康チェックを用いた認知症大規模スクリーニング法の開発 -第一報-	○
一般演題	P093	畠山 公大	患者・介護者のアルツハイマー病新規治療薬投与の希望と認知機能・介護負担の検討	○
一般演題	P094	都河 明人	アルツハイマー病における神経炎症と腸内細菌叢異常	×
一般演題	P095	山城 一雄	当施設のレカネマブ投与プロトコールと問題点	○
一般演題	P096	菊池 麻美	当院におけるレカネマブ診療の現状と課題	×
一般演題	P097	森本 耕平	65歳以上の若年性アルツハイマー型認知症の存在	○
一般演題	P098	長沼 博文	レカネマブ適用検査の需要を構成する支払意思額と無形費用	○
一般演題	P099	五十嵐 中	認知機能項目を追加した“bolt-on”版EQ-5D-5L (EQ-5D-5L+C)の開発	○
一般演題	P100	五十嵐 中	NHO沖縄病院におけるレカネマブ治療目的の診断および導入体制について	○
一般演題	P101	渡嘉敷 崇	髄液成長関連連蛋白質43 (GAP-43) とアルツハイマー型認知症のタウ病態との関連	×
一般演題	P102	足立 弘明	物忘れ外来の受診者における嗅覚テスト (OSIT-J) とノイズ・パレイドリアテスト	○
一般演題	P103	竹之下 慎太郎	心窩部痛が先行したレヴィ小体型認知症の1例	○
一般演題	P104	久保田 怜美	緊張病症状で発症、寛解したPsychiatric-onset prodromal DLB疑いの1例	×
一般演題	P105	羽金 裕也	音楽性幻聴を呈したレヴィ小体型認知症疑いの83歳女性例	○
一般演題	P106	吉長 恒明	非痙攣性てんかん重積が疑われたLewy小体型認知症の75歳男性例	×
一般演題	P107	森 友紀子	機械学習による音声解析でパーキンソン病の認知・精神症状を簡易検出するツールの開発	○
一般演題	P108	大嶽 れい子	レヴィ小体型認知症における血清脂質と黒質線条体ドパミン神経変性の関連	×
一般演題	P109	梅原 淳	アミロイドプラーク除去治療の理解と展望	×
一般演題	P111	岸本 由紀	重度の失書を呈する前頭側頭葉変性症に大脳基底核石灰化を伴った1例	○
一般演題	P112	坂下 泰浩	認知症を伴う筋萎縮性側索硬化症の運動機能と認知機能の検討	×
一般演題	P113	八辻 拓	精神病症状を呈した神経核内封入体病が疑われる一例	○
一般演題	P114	水谷 浩徳	長期経過観察をし得たUnverricht-Lundborg病の1例	×
一般演題	P115	石黒 敬信	進行性核上性麻痺及び大脳皮質基底核症候群におけるAT(N)脳脊髄液バイオマーカー	×
一般演題	P116	飯嶋 睦	パーキンソン病における認知機能とサルコペニアとの関連	○
一般演題	P117	宮城 佑規	原発性進行性失語の鑑別における脳血流SPECTの重要性	×

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
一般演題	P118	田原 大資	進行性核上性麻痺と臨床診断され、病理学的には大脳皮質基底核変性症であった例の検討	×
一般演題	P119	黒羽 泰子	パーキンソン病に伴う軽度認知障害における記憶障害	×
一般演題	P120	武井 潤	当施設で経験した神経核内封入体病5例の臨床的特徴に関する検討	×
一般演題	P121	鈴木 政秀	当院での意味型原発性進行性失語の臨床像の検討	×
一般演題	P122	仲野 義和	パーキンソン病患者におけるAPOEε4対立遺伝子の脳機能的ネットワークへの影響	○
一般演題	P123	百田 友紀	反復性脳震盪に続発する遅発性後遺症と白質病変との関連	×
一般演題	P124	宮田 真里	反復性軽度頭部外傷の透明中隔腔形成・穿孔と認知機能・血液バイオマーカーとの関連	○
一般演題	P125	宮本 哲愼	大阪大学精神科認知症コホートにおけるNOTCH2NL2 遺伝子のGGCリピート長解析	×
一般演題	P126	後藤 良司	MR構造・拡散画像とtau PETを用いたタウオパチーにおける高次脳機能障害の特徴の検討	×
一般演題	P127	関 守信	パーキンソン病患者におけるglymphatic systemの機能と認知機能の関係	×
一般演題	P128	田村 光至	パーキンソン病患者における軽度認知機能障害の神経心理スコア・脳血流画像の特徴	×
一般演題	P129	小久保 康昌	Tau filaments from ALS/PDC adopt the CTE fold	○
一般演題	P130	今泉 佑花	Phase contrast MRIを用いた進行性核上性麻痺と特異性正常圧水頭症の鑑別能の検討	×
一般演題	P131	喜多 也寸志	脳アミロイド血管症関連炎症の臨床的検討	×
一般演題	P132	坂井 健二	発症早期に復唱と比較して書字障害が目立った左前頭葉の脳梗塞の検討	○
一般演題	P133	高曽根 健	ヘテロ接合性HTRA1 遺伝子関連脳小血管病の臨床像と画像所見の検討	○
一般演題	P134	細木 聡	Molecular biomarkers for vascular cognitive impairment and dementia	×
一般演題	P135	徳武 孝允	脳アミロイドアンギオパチー関連炎症における脳脊髄液バイオマーカー	○
一般演題	P136	布村 仁一	無数のCerebral microbleedsを呈する認知機能低下患者の背景疾患	○
一般演題	P137	成瀬 瑠美	CAA-RIと診断し、ステロイド加療4年後に脳出血で死亡した84歳男性	×
一般演題	P138	高鳥 翔	ミクログリアによるアミロイドβ貪食を制御する新規因子の同定	×
一般演題	P139	中野 将希	ニコチン受容体活性化による核内SP1のリン酸化と安定化はBACE1転写を誘導する	○
一般演題	P140	中野 博人	高速原子間力顕微鏡を用いたAβ42凝集系への抗Aβ毒性コンホマー抗体の作用	○
一般演題	P141	藤原 舜	アミロイドβ-VGLUT1複合体を測定するELISA構築と測定	○
一般演題	P142	中吉 理恵	アストロサイト由来アミロイドβ分解酵素KLK7発現制御機構の解明	×
一般演題	P143	汪 楚凡	光酸化アミロイドβ分解酵素の探索	×
一般演題	P144	植川 顕	tPA鼻腔内投与によるアミロイド過剰発現マウスの神経血管反応性と認知機能の改善効果	○
一般演題	P145	小牧 之泰	ヒトamyloid beta (Aβ) ノックインマウスを用いた新規Aβ病態モデルマウスの開発	○
一般演題	P146	天野 晶子	Aβ oligomer特異的フラグメント抗体の投与による認知機能及び病態改善効果の検討	×
一般演題	P147	中山一直野 留美	タキキニンペプチドがAβの神経毒性にもたらす影響の解析	×
一般演題	P148	上田 紗希帆	ペランパネルはAMPA型グルタミン酸受容体のシナプス移行性を改善しAβ病態を改善する	○
一般演題	P149	和田 隆史	Synaptotagmin1 regulates BACE1 protein expression through the direct interaction	×
一般演題	P150	岩井 陶香	リグニン誘導体によるAβ凝集抑制と産生抑制の検討	×
一般演題	P151	秦 麻乃	大脳皮質と小脳におけるAβ凝集性の比較	○
一般演題	P152	半田 譲大	γセクレターゼ構成因子ニカストリンの糖鎖修飾と基質選択性	○
一般演題	P153	Khairun Nisa Binti Hashim	Neuronal glutathione loss elevates Aβ42/Aβ40 ratio and tau aggregation	○
一般演題	P154	城谷 圭朗	アルツハイマー病危険因子TREM2の線維性アミロイドβ42抑制機能	×
一般演題	P155	加藤 伸郎	嗅球除去は3xTgモデルマウスのアルツハイマー病態を増悪させるか	×
一般演題	P156	色本 涼	百寿者の認知機能と平均余命を予測する血液バイオマーカー「アンコール演題」	×

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
一般演題	P157	高田 和幸	$\alpha 7$ nAChR選択性フルアゴニストPNU282987の抗アミロイド β 作用の解析	○
一般演題	P158	高村 歩美	アミロイド β とグリンパティック経路の機能異常の関連性について	×
一般演題	P159	茨木 利哉	A β 免疫組織染色とオリゴマー-特異的PLAの共染色による脳内A β オリゴマーの局在解析	×
一般演題	P160	松田 拳斗	Fibroblast Growth Factor17による抗アルツハイマー病効果の検討	○
一般演題	P161	中澤 那由多	新規ヒト化APOEモデルマウスの作成とその生化学的検証	○
一般演題	P162	石川 若芸	APOE4からAPOE3への変換を生体内で実現するヒト化APOEマウスモデルの作成と解析	○
一般演題	P163	大日方 藍	アルツハイマー病感受性遺伝子APOEのミスセンスバリエーションの同定とその機能解析	×
一般演題	P164	原田 龍一	ApoE陽性老人斑を可視化する蛍光プローブの同定	×
一般演題	P165	イムティアズ アハメド	ランソプラゾールはアルツハイマー病シード依存性タウ凝集を抑制する	○
一般演題	P166	孫 陽	Presenilin deficiency enhances tau phosphorylation and its secretion.	○
一般演題	P167	梶原 優太郎	Chol-CM-PVImを用いたLLPS制御によるTau凝集抑制	○
一般演題	P168	小池 力	空間探索における機能的ネットワークと嗅内野タウ病理の関連	○
一般演題	P169	眞鍋 達也	Novel kidney-brain axis illuminated by chronic kidney disease and ageing	×
一般演題	P170	廣田 湧	アルツハイマー病プレクリニカル期におけるバイオマーカーリン酸化タウの脳内局在解析	×
一般演題	P171	佐藤 祐太	変異型タウ凝集体を用いたタウオパチーに対するワクチンの作製	○
一般演題	P172	添田 義行	顆粒状タウオリゴマーによるモノクローナル抗体はタウC末端を介して凝集体に結合する	○
一般演題	P173	手代木 紳	アルツハイマー病患者における髄液タウ断片化の多様性とその臨床的意義の検証	×
一般演題	P174	伊藤 祐規	In vitro及びin vivoモデルを用いた抗てんかん薬によるタウ凝集抑制効果の検証	×
一般演題	P175	長山 建	脳インスリンシグナルがタウ蓄積に及ぼす影響の検討	○
一般演題	P176	加藤 伊織	MARK4はタウ毒性モデルショウジョウバエでATP産生を低下させる	×
一般演題	P177	高橋 知未	タウタンパク質の線維化における前駆体の存在と役割	○
一般演題	P178	Taiki Matsubayashi	Electroencephalogram features in the early sporadic Creutzfeldt-Jakob disease	○
一般演題	P179	伊飼 美明	前頭側頭型変性症に、筋萎縮側索硬化症を併発した一例	○
一般演題	P180	田中 芳子	検査で異常を認めず、診断に難渋したM232R変異の遺伝性Creutzfeldt-Jakob病	×
一般演題	P181	松本 奈々恵	軽度認知障害を有する高齢者の脳の微細構造とA β の関連	×
一般演題	P182	鳥居 洋太	GLO1フレームシフトを伴ったvery late-onset schizophrenia-like psychosisの一部検例	○
一般演題	P183	菅野 重範	特発性正常圧水頭症患者における脳解剖画像の分離と標準化の精度向上を目的とした研究	○
一般演題	P184	羽柴 哲夫	DAT障害を認めたprobable iNPH症例のシャント術後長期成績に関する後方視的検討	○
一般演題	P185	景山 卓	脳アミロイドアンギオパチーとアルツハイマー型認知症の臨床的特徴の差異	○
一般演題	P186	尾崎 遠見	認知症予防を目指した多因子介入による認知症リスクスコア改善の効果	○
一般演題	P187	Khairan Paramita	Protein intake and risk of mild cognitive impairment in Japanese older adults	○
一般演題	P188	長田 高志	認知症発症率へのCOVID-19流行の影響についての調査研究	○
一般演題	P189	奈良林 愛美	認知機能障害患者における難聴と脳構造の変化	○
一般演題	P190	森岡 千尋	都市部地域住民を対象とする睡眠時間と認知機能障害に関する疫学研究：吹田研究	×
一般演題	P191	立花 亜由美	地域高齢者における血清高感度CRPと認知症との関連：JPSC-AD研究	○
一般演題	P192	小笠原 牧	地域在住高齢者の現代高齢者版余暇活動尺度とMoCA-Jの関連	○
一般演題	P193	石塚 直樹	地域在住高齢者におけるBDNFとMCI・認知症との関連：YAHABA study	○
一般演題	P194	小野 玲	高齢がんサバイバーの運動習慣と認知症発生：LIFE Study	×
一般演題	P195	服部 英典	亜鉛とビタミンB群欠乏の頻度とその数値の神経心理スコアとの関係	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
一般演題	P196	田山 賢司	糖尿病、高血圧症、脂質異常症の管理とMCIリスクとの関連について	×
一般演題	P197	亀井 美登里	地域支援活動における認知症対策の取り組み	○
一般演題	P198	中島 円	認知症スティグマの生じない簡易認知症診断ツール（質感オノマトペ検査）の開発	○
一般演題	P199	須藤 裕子	血中マイクロRNAを用いた認知症疾患の層別化	○
一般演題	P200	堀本 真以	見守りロボットを介した単身高齢者との会話ログを用いた認知機能障害の評価	○
一般演題	P201	吉田 幸祐	認知機能低下を予測する因子としての血漿中マイクロRNA測定の意義	×
一般演題	P202	丸田 純平	高齢者における主観的認知機能低下と眼球運動：視線入力ゲームの活用	○
一般演題	P203	高橋 佳史	DEMCIRC（Determinant of MCI Reversion/Conversion）でのMCIの判定基準の特徴	×
一般演題	P204	山本 翔	アイトラッキング式Stroop検査法と機械学習の組み合わせによる前頭葉機能障害の検出	×
一般演題	P205	山本 翔	タッチパネル式老年期うつ病尺度(GDS)の開発と認知機能評価法としての有用性の検証	×
一般演題	P206	佐藤 研一郎	DEMCIRC studyの参加者の特徴：軽度認知障害における記憶機能低下者の割合	○
一般演題	P207	扇澤 史子	MCIからADへの移行を予測するスクリーニング検査の下位項目の検討	○
一般演題	P208	渡邊 真哉	脳波 B M I による認知機能低下の早期発見へ向けた研究開発「ニューロディテクター」	×
一般演題	P209	手代木 紳	アイトラッキング式認知機能評価法における指示文注視率の利用と評価精度向上	×
一般演題	P210	岩田 邦幸	遅発性妄想症の経過とDLBの指標的画像バイオマーカーの有用性	×
一般演題	P211	黒田 佑次郎	COVID-19パンデミックがMCI高齢者のライフスタイルに与える影響に関する国際比較	×
一般演題	P212	栗山 長門	咬合力、老化（ロコモや認知）と脳容量解析の関連について～高齢者健診データより～	○
一般演題	P213	肥田 道彦	アミロイドの脳内蓄積による顔の認識への影響に関する機能的MRI研究	○
一般演題	P214	勝久 美月	アイトラッキング技術とモーションセンサーを利用したコグニティブフレイルの簡易評価	×
一般演題	P215	伊澤 大介	香りによる認知機能スクリーニングキットと認知症バイオマーカーの相関分析	○
一般演題	P216	川北 澄枝	軽度認知障害患者に対する認知機能低下予防教室における複合プログラムの効果について	○
一般演題	P217	岡本 一枝	高齢化率の高い地域の医療機関における軽度認知障害（MCI）の推移の実態	×
一般演題	P218	川崎 照晃	当院物忘れ外来における若年性認知症患者の特徴と課題	×
一般演題	P219	武田 朱公	アイトラッキング式認知機能評価法における経時的な再現性についての検証	×
一般演題	P220	深津 孝英	COVID-19陽性であった行動障害型前頭側頭型認知症の1例	○
一般演題	P221	立花 亜由美	地域高齢者の認知機能低下に伴う行動・心理症状と脳容積との関係：中山町研究	○
一般演題	P222	野口 明男	脳神経外科医における神経変性疾患	×
一般演題	P223	黒瀬 心	Tau pathologies in late-life mood disorders: A PET and brain bank study	×
一般演題	P224	伊関 千書	認知症疾患の歩行障害に対するAI自動判別、ゆらぎ解析：iPhoneアプリDPT-GTから	○
一般演題	P225	末廣 聖	アルツハイマー病およびレビー小体病における孤独感と関連する要因の違い	×
一般演題	P226	柘田 道人	もの忘れ外来受診者における主観的ウェルビーイングに関する検討	×
一般演題	P227	遠藤 雄司	病院受診拒否で対応困難であったが、救急搬送を契機に施設入所した認知症患者の1例	○
一般演題	P228	山田 洋介	認知症高齢者の抑うつは退院後のClinical Frailty Scale scoreの悪化を予測する	×
一般演題	P229	櫻井 透	自尊感情の高低と行動心理症状：軽度認知障害及びアルツハイマー型認知症における検証	○
一般演題	P230	秋山 一文	入院認知症患者に於ける肺炎発症と認知症重症度、行動心理症状との関係	×
一般演題	P231	長谷 芳樹	6ヶ月間のガンマ波サウンド聴取の受容性と意識・認知機能等の改善に関する探索的研究	×
一般演題	P232	黒田 岳志	音声AIを用いた認知機能スクリーニングツールの開発と有用性の検証	○
一般演題	P233	木原 睦月	専門職視点に基づく高齢者の認知レジリエンスに影響を与える個人的・環境的要因の検討	○
一般演題	P234	露木 佳奈子	急性期整形外科病棟における認知症患者に対し趣味・嗜好を取り入れた回想法の効果	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
一般演題	P235	吉井 康裕	貼付剤使用による発赤は皮膚の水分量と相関する傾向がある	○
一般演題	P236	富澤 安寿美	コメディカルスタッフによるレカネマブ導入支援の試み	○
一般演題	P237	宮下 彰子	長期経管栄養により肝障害・浮腫を呈したセレン欠乏症の1例	×
一般演題	P238	木村 成志	生体センサによる運動と睡眠は認知機能と縦断的関連を示す	○
一般演題	P239	南里 和紀	スタチン中止により認知障害の改善を示した高齢女性2例	○
一般演題	P240	小林 信周	MCIおよび軽度ADへのフェルガードとMガードの認知機能とアパシーに対する臨床効果	○
一般演題	P241	齋藤 朝子	認知症者の食問題と人工栄養補給路選択における認知症の病型の影響	○
一般演題	P242	橋本 道男	パレチンとエゴマ油含有サプリメントによる高齢者認知機能改善効果：RCT法による検証	×
一般演題	P243	佐藤 祥一郎	日本人における早期アルツハイマー病に対するドナネマブによるバイオマーカーの変化	○
一般演題	P244	後藤 和也	アルツハイマー病に対する国内治験状況の調査・検討	×
一般演題	P245	渡邊 一久	認知症のリスクをもつ高齢者のフレイル・内在的能力に対する多因子介入効果の検証	○
一般演題	P246	横井 克典	もの忘れ外来の中でのてんかん診療	○
一般演題	P247	岡橋 さやか	認知症要介護者の外出行動の実態（NCGG-UniCo）第2報：行き続けたい場所	×
一般演題	P248	山田 成志	日本における介護施設職員の主観的Well-beingの現状とその関連因子	×
一般演題	P249	加藤 泰子	臨床的活用に向けたレビー-小体型認知症の認知機能変動観察指標改訂版の作成	×
一般演題	P250	上原 和也	身体拘束に関する認識調査～多職種連携による身体拘束軽減の検討～	○
一般演題	P251	今泉 未来	乳がんが及ぼす苦痛とアルツハイマー型認知症の嫉妬妄想に対するナラティブアプローチ	○
一般演題	P252	森田 賢	介護施設利用者の生きがい形成 ―Be supporters！の活動事例分析―	○
一般演題	P253	蛭名 尚子	睡眠薬と転倒の関連	×
一般演題	P254	塩崎 一昌	若年性認知症の支援の実践 集いや精神障害の支援制度の利用について	×
一般演題	P255	齊藤 葉子	介護支援専門員が行う一人暮らし認知症高齢者の生活継続支援に関するインタビュー調査	×
一般演題	P256	木村 沙織	当院の認知症ケアサポートチームにおける役割・機能の明確化と課題の検討	○
一般演題	P257	齊藤 千晶	地域包括支援センターの若年性認知症患者への支援-支援コーディネーターとの連携-	×
一般演題	P258	奈良 毬那	集合型オンライン体操教室のフレイル予防効果	○
一般演題	P259	池ノ内 篤子	被介護者の状態と就労している家族介護者の心理的負担の関連	○
一般演題	P260	天白 宗和	認知症患者のポリファーマシーに対する多職種による包括的介入の効果	×
一般演題	P261	國枝 洋太	急性期病院の療法士専従配置病棟における認知症患者の特徴	×
一般演題	P262	永井 久美子	もの忘れ外来患者における自動車運転への意識および家族間の相違：男女別検討	○
一般演題	P263	庄司 聡子	医療専門職における認知症の食問題と人工栄養補給路に対する認識調査	○
一般演題	P264	大町 佳永	認知症介護者のためのインターネットを用いた学習プログラムiSupport日本版の有用性	○
一般演題	P265	志賀 木綿子	民生委員・児童委員が捉える認知症の早期発見，早期受診に向けた支援	○
一般演題	P266	吉原 章王	薬物有害事象の予防を目的とした不眠時指示の共通化	○
一般演題	P267	打田 明日海	高齢大腿骨近位部骨折患者の認知機能障害が日常生活動作に及ぼす影響	○
一般演題	P268	池田 昇平	当院における認知症地域医療連携バスの現状	×
一般演題	P269	工藤 真励奈	地域中核病院における認知症ケアチームの活動実績とあり方の検討	○
一般演題	P270	梶本 賀義	抗Aβ抗体療法時代における認知症疾患医療センターの課題と役割	○
一般演題	P271	湯川 弘之	回復期リハビリテーション病院における身体拘束最小化チーム発足時の倫理意識の調査	×
一般演題	P272	栗田 駿一郎	認知症条例における当事者参画の促進に向けた比較調査研究	○
一般演題	P273	本城 靖之	日本昔話認知症スケールとHDS-R、MMSEとの関連性	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
一般演題	P274	齋藤 朝子	急性期病院に入院した認知症患者に対するケア用品の使用効果：ケースシリーズ	○
一般演題	P275	齋藤 朝子	認知症者の家族による人工栄養補給路選択に対する評価に関連する要因	○
一般演題	P276	芳野 弘	認知症ケアチームの取り組みに対するアンケート調査	○
一般演題	P277	橋本 萌子	認知症の行動・心理症状の発生とケア及び施設の組織体制との関係性	×
一般演題	P278	国吉 直美	地域型認知症疾患医療センターにおける若年性認知症調査	○
一般演題	P279	上田 紘菜	A病院看護師のスピーチロックに関する認識とその実態	×
一般演題	P280	滝口 優子	過疎化が進んでいる離島・中山間地域におけるオンライン研修の状況と介護実践の課題	×
一般演題	P281	奥本 真巳	地域中核病院における認知症ケアサポートチームの取り組みと実績	○
一般演題	P282	瓜崎 美幸	身体拘束の実施が検討されたせん妄状態の高齢患者に対する認知症マフの効果	○
一般演題	P283	黒川 隆史	「3つのオレンジ」を活用した認知機能低下者対応モデルの作成と質問紙調査による評価	○
一般演題	P284	原 等子	日本国内における認知症診断前後の状況と支援に関する実態調査	○
一般演題	P285	江澤 直樹	長野県上小地区における認知症医療連携とレカネマブ治療連携バスの構築	○
一般演題	P286	大嶋 俊範	ベンゾジアゼピン系睡眠薬の不使用に向けた当認知症ケア回診での取り組み	○
一般演題	P287	品川 俊一郎	アルツハイマー型認知症患者の同居介護者に関する介護実態調査	○
一般演題	P288	品川 俊一郎	アルツハイマー型認知症患者の行動・心理症状（BPSD）と介護者負担感・QOLとの関連	○
一般演題	P289	初田 裕幸	プロスポーツの勝敗の認知症患者のBPSDへの影響の検討	○
一般演題	P290	武地 一	認知症ケアチーム介入のための複眼的時系列シートの作成	○
一般演題	P291	野崎 和美	若年性認知症診断後相談介入における患者本人・家族の実情と課題	○
一般演題	P292	塩田 智	在宅認知症高齢者を支える主介護者の負担感とその要因	×
一般演題	P293	青山 雄一	リハビリにおける認知症治療連携の必要性	○
一般演題	P294	大上 哲也	青森県外ヶ浜町「認知症初期集中支援チーム」のコロナ禍以降の活動	○
一般演題	P295	塚本 忠	健康ポイント事業を活用した認知機能障害への運動介入効果	○
一般演題	P296	中村 亮太	認知症ケアチーム立ち上げ1年目の成果と課題—認知症ケアリンクナース会との連携—	×
一般演題	P297	土屋 智裕	高齢化が進むへき地診療所での課題	×
一般演題	P298	山口 智晴	前橋市の認知症初期集中支援チームにおける支援対象者および実績の経時変化	○
一般演題	P299	中村 考一	居住系サービスにおいて実施されているケアがBPSDへ及ぼす影響	×
一般演題	P300	福田 恭子	地域医療支援病院における認知症患者の身体拘束リスク評価	×
一般演題	P301	兼子 かなえ	アルツハイマー病新規治療薬の投与を希望しない介護者の思いに関する検討	○
一般演題	P302	竹内 東太郎	認知症の外的危険因子としての精神的苦痛（Bad stress）の評価	×
一般演題	P303	Keiko Hatano	Utility of ¹⁸ F-THK5351 PET in identifying inflammatory lesions in neurosyphilis	○
一般演題	P304	伊藤 詩歩子	ユマニチュード導入によるスタッフの意識調査～超高齢社会で看護していくために～	○
一般演題	P305	演題取り下げ		×
一般演題	P306	Byambadorj Nyamradnaa	パッチ式脳波計による前額部脳波を用いた認知症診断支援AIに有効な特徴量の探索	○
一般演題	P307	鶴飼 克行	総合病院における認知症診療の意義：抗アミロイドβ抗体薬治療を含めて	○
一般演題	P308	林 玲子	認知症患者に対するミトン型身体拘束低減を目的とした認知症マフ使用の有効性	○
一般演題	P309	玉田 真美	公認心理師教育課程大学院生の認知症外来での実習2年目の考察	○
一般演題	P310	向井 優里彩	αシヌクレイン線維化における振盪の役割の解明	○
一般演題	P311	小林 広人	αシヌクレインの細胞内凝集に対するASCの寄与の検討	×
一般演題	P312	高木 翔平	シード依存的αシヌクレイン凝集を抑制する変異型αシヌクレイン	○

セッション名	演題番号	演者名※敬称略	演題名	配信可否
一般演題	P313	澤井 大樹	α -シヌクレイン細胞外分泌の抑制がもたらすリゾソーム機能への影響	○
一般演題	P314	徳田 栄一	TDP-43タンパク質の構造多様性に基いた細胞内移行性の層別化	×
一般演題	P315	森本 悟	CHCHD2-related mitochondrial abnormalities in astrocytes of Kii ALS/PDC patients	×
一般演題	P316	大谷 麗子	FTLD-FETおよびALS-FUSにおけるFUSとTAF15の局在	○
一般演題	P317	菊地 正隆	アルツハイマー病のポリジェニックリスクスコア層別化によるマルチオミクス解析	×
一般演題	P318	角田 伸人	認知症病因タンパク質高感度検出法の開発	○
一般演題	P319	佐野 和憲	プリオン病脳におけるRIG-I発現異常	×
一般演題	P320	小熊 優紀	FUS 変異(p.H517D)はヒト脊髄運動ニューロンにおいてDNA損傷を伴う変性を惹起する	×
一般演題	P321	後藤 志帆	eIF5は C9orf72 FTLD/ALSで異常伸長したリピート配列のpoly-GA DPRへの翻訳を促進する	○
一般演題	P322	山川 明子	網羅的遺伝子発現解析による早期診断のための段階特異的血液バイオマーカーの同定	×
一般演題	P323	魚住 亮太	Poly (A) 結合タンパク質はC9orf72 -G4C2リピートRNA分解経路に関与する	×
一般演題	P324	長谷川 舞衣	ヒト脳組織のプロテオーム解析	×
一般演題	P325	三浦 耕人	C9orf72 -GGGGCCリピートRNAは自然免疫系を活性化する	○
一般演題	P326	橋本 翔子	グルタチオン減少下におけるrod-shaped microglia形成について	×
一般演題	P327	羽田 沙緒里	脳内在ペプチドp3-Alc β のアルツハイマー病に対する機能解析	○
一般演題	P328	田中 楓月	一酸化窒素合成酵素のPDZドメインに結合するDNAアプタマーの探索	×
一般演題	P329	稲垣 隼	認知機能低下のある高齢者の抹茶継続摂取が認知症関連血中マイクロRNAに与える影響	○
一般演題	P330	仲 和奏	一酸化窒素合成酵素による神経細胞死誘導メカニズム解明に向けたCAPONアプタマー開発	×
一般演題	P331	下濱 祥	新規ADモデルマウスを用いたA673T変異の保護的効果及びその機序の検討	○
一般演題	P332	山内 健太	アルツハイマー病モデルマウス脳組織におけるマウスモノクローナル抗体の特異的検出	×
一般演題	P333	Aldoghachi Asraa Faris	Distribution of TXNIP in the brain of a diabetic mouse model	×
一般演題	P334	西田 風也	新規動脈硬化症モデルマウスによる脳内のA & beta蓄積と解析	○
一般演題	P335	川出 野絵	肥満時のアルツハイマー病における脳グリア細胞での脂質代謝系の変動	×
一般演題	P336	小林 博也	CRISPR-Cas9を用いたDAO遺伝子改変iPS細胞由来グリアモデルによるALS病態解析ツール	×
一般演題	P337	柳沢 大治郎	APPトランスジェニックカニクイザルの脳脊髄液バイオマーカーの変化	○
一般演題	P338	永田 健一	神経炎症ミクログリアの動態解明に向けたin vivo標識ツールの確立	×
一般演題	P339	小峯 起	アルツハイマー病における免疫系とミクログリア細胞集団構成の連関の解明	×
一般演題	P340	祖父江 顕	ヘパリン結合性上皮成長因子によるグリア細胞の活性調節を介した新規AD治療法の開発	×
一般演題	P341	落石 知世	細胞内アミロイド β オリゴマーはシナプス前終末のエンドサイトーシス機構を阻害する	×
一般演題	P342	渡邊 捷太	A&beta凝集阻害機能搭載DDSキャリア「Chol-PEG」によるAD治療薬	○
一般演題	P343	畑中 由香里	直鎖状ユビキチン鎖生成酵素阻害剤経鼻投与によるALSモデルマウスへの影響解明	○
一般演題	P344	亀井 敬泰	認知症治療薬開発の促進を目指した海馬神経細胞への薬物ターゲティング戦略	○
一般演題	P345	松本 慧大	尿由来細胞から直接誘導した神経細胞を用いた神経変性疾患のモデリング	○
一般演題	P346	村岡 賢	血液を巡る脳組織由来細胞外小胞を捉える手法の確立	×
一般演題	P347	原 範和	シングル核RNA-seqデータによる家族性アルツハイマー病関連遺伝子の発現解析	×
一般演題	P348	前川 華澄	アルツハイマー病研究に向けたヒト末梢血由来ミクログリア様細胞の遺伝子発現解析	×
一般演題	P349	抱 将史	アストロサイトのTRPA1による血管性認知障害に対する生体防御機構の解明	○
一般演題	P350	安藤 研介	HDS-R：1/30点のAD患者に自転車エルゴメーターを導入し独歩可能まで至った一症例	×
一般演題	P351	姚 潤宏	Theta振動刺激法による FNDC5/Irisin 誘発とマウス記憶機能維持の関係の解析	○
一般演題	P352	武倉 アブドグブル	タウを注入した5FADマウスにおけるA β 存在下で脳低灌流のタウ蓄積に対する効果の解明	○